

令和8年度

運営に関する計画

令和8(2026)年5月21日



大阪市立新平野西小学校

1 学校運営における中期目標

現状と課題

本校では、これまで「大阪市教育振興基本計画」の3つの最重要目標についてそれぞれ目標達成に向けて取組を進め、様々な交流活動を通して、心豊かでたくましい子ども像を目指して目標の達成に向けて積極的に取り組み達成してきた。

【安全・安心な教育の推進】

各学年年間2回以上の出前授業、体験学習やゲストティーチャーを招いた取組、全校遠足や集会活動、「しんひら祭り」などで学期に1回以上異学年交流に取組、様々な交流活動、体験活動を通して人権教育や道德教育、在日外国人教育の取り組みにつなげることができた。また、道德教育研修会、子ども理解研修会、特別支援教育研修会を計画的に実施することができた。今後も組織で多様な児童理解を深め共有していく必要がある。いじめについては、各学期にアンケートを実施し、学校全体で児童の状況を把握し、早期発見・解決に努めた。児童アンケート「自分にはよいところがある」の肯定的回答の割合は、今後も維持できるようにしていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学力向上推進事業に取り組み、授業構成や教材研究について講師先生から学ぶことで、授業力・指導力が向上した。小学校学力経年調査においては、ボリュームゾーンの学力に課題があることが分かった。基礎基本の定着とともに、児童同士の意見交流の質を上げ、より効果的な意見交流ができるような発問や方法を工夫し指導し授業改善につなげていく必要がある。

手洗い・歯みがき週間を学期ごとに実施したことで、手洗いと歯みがきの習慣が身につけている。しかし、朝の歯みがきの定着や、規則正しい生活に対して正しいと思うに対して肯定的に回答する児童を育てていく必要がある。体力・運動能力の向上については、かけあし月間やなわとび週間などの体育的行事を通して成果を上げることができた。

【学びを支える教育環境の充実】

読書タイムや図書委員会を中心とした図書館開放・ブックトークなど積極的に取り入れることができた。しかし、児童アンケート「すすんで読書をしていますか」の肯定的回答の割合は60%以下となっており、成果が児童アンケート結果には反映させることができなかった。今後、進んで読書する児童の育成の取組をさらに充実させる必要がある。週に1回ゆとりの日を設定・実施し、セット時刻を定めることにより、超過勤務時間は大幅に削減された。また、日頃から効率的に業務を進められるような組織づくりや役割の工夫を継続していく必要がある。

令和8年度からの4年間、大阪市の掲げる基本理念の実現を目指し、新平野西小学校としての取組を具体化し実践していく。グローバル化が進展した世界において多様な人々と協働しその担い手となる子どもを育てるために、「自分にはかけがえのない存在である」という一人一人が大切にされる実感を基盤に学校運営を組織で進める。今後も様々な交流や体験活動を通じ、他者を尊重し共に生き抜こうとする心を育み、特別支援教育、人権教育、道德教育、在日外国人教育の推進につなげる。学校教育目標を「一人一人が大切にされ、心豊かにしなやかに生き抜く子どもの育成」をかけたこれまでの「たくましさ」からさらに進化させた「しなやかさ」を育むことを目指し、困難に直面しても柔軟に適応し乗り越える力をもった子どもを4年間で育成する。また重点目標として「想いをつむぐ言葉で認め合い、考えをひらく言葉で学び合い、心をつないで高め合い」を重点目標として、多様な他者と認め合い学び合い高め合うために相手を思いやり敬意をもって表現しようとする事ができる児童を組織で育てていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

施策目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を88%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針」に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

施策目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることが広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

施策目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。」
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を45%以上にする。

学校園の中期目標

- ・本校アンケート調査で、「いろいろな場面であいさつができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を全学年88%以上にする。
- ・インクルーシブ教育に関する研修を年3回以上し、児童理解をさらに深める。
- ・本校アンケート調査で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層を前年度よりも向上させる。
- ・学校アンケート調査で、「規則正しい生活が大切だと思う」の項目について、「あてはまる（だいたいあてはまる）」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・学校アンケート調査で、「体を動かす遊びがすきですか」の項目について「あてはまる（だいたいあてはまる）」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・学習で、毎日1回以上学習者用端末（タブレット）を使用する。
- ・デジタル教材や協働学習支援ツールを用いた学習を週3回実施する。
- ・ゆとりの日を週1回設定し実施する。

2 中期目標達成に向けた年度目標（施策目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

施策目標を達成するための年度目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を84%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針」に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。

学校園の年度目標

- 本校アンケート調査で、「いろいろな場面であいさつができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を全学年80%以上にする。（あいさつ R7 93%）
- インクルーシブ教育に関する研修を年3回以上し、児童理解をさらに深める。
- 本校アンケート調査で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。（R7 81.8%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

施策目標を達成するための年度目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R7 78.2%）
- ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R7 89.7%）

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層を前年度よりも向上させる。
- 学校アンケート調査で、「規則正しい生活が大切だと思う（朝食を毎日食べること 毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きる）」の項目について、「あてはまる（だいたいあてはまる）」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

施策目標を達成するための年度目標（小学校）

- ・校内調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%とする。
- ・教員（管理職除く）の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月45時間以下とする。

学校園の年度目標

- ・心の天気を毎日1回入力する。
- ・ゆとりの日を週1回設定し、実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立新平野西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 施策目標を達成するための年度目標（小学校） ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 目標 70% 結果 83.3%) ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 本校アンケート 85.7%) ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R7 87%) ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針」に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。 学校園の年度目標 ○ 本校アンケート調査で、「いろいろな場面であいさつができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を全学年80%以上にする。 ○ インクルーシブ教育に関する研修を年3回以上し、児童理解をさらに深める。 ○ 本校アンケート調査で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81%以上にする。(R7 81.8%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【2 豊かな心の育成】 ・互いの違いを尊重し合い支え合う子どもを育てるために、出前授業や社会見学等の体験学習やゲストティーチャーを招いた取組を実施し、計画的な人権教育を推進する。 ・たてわり班活動を実施する。 ・「自分にはよいところがある」という自尊感情（自己肯定感）を向上させる。 ・あいさつに対する認識を深めるようにさせる。 指標 ・年間指導計画に基づいて、各学年が出前授業や社会見学等の体験学習やゲストティーチャーを招いた取組を、メディア教材やオンラインを使用した取組も含めて年間2回以上実施する。 ・児童会活動を中心に、学期に1回以上たてわり班活動に取り組む。 ・人権教育の実践を各学年、年間1回以上取り組む。また、学校全体で、自尊感情（自己肯定感・自己有用感）を向上させるための指導を工夫し、児童アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」の肯定的な回答の割合を、82%以上にする。 ・あいさつに対する認識を深め、児童アンケートにおいて、「いろいろな場面であいさつができていますか」の肯定的な割合を全学年で85%以上にする。	

取組内容②【1 安全安心な教育活動の実現】 ・人権教育推進委員会や人権教育3部会（にんげん部会、特別支援教育部会、在日外国人教育部会）を行い、課題を明らかにしながら人権教育を実施する。 ・子どもの実態や学校の課題に即した全体研修会を計画する。 ・いじめアンケートを実施し、子どもが安心して学校生活を送ることができるように指導していく。	
指標 ・拡大学年会や人権教育推進委員会等、人権教育に関する話し合い・情報共有の機会を月1回以上設定し、実施する。 ・年間3回以上の全体研修会を計画し、子ども理解を深める。 ・いじめアンケートを学期ごとに行い、課題の早期発見・早期解決に取り組み、児童アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的な回答の割合を、85%以上にする。・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針」に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。	
取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ・廊下・階段を安全に歩く指導を行う。 ・すみずみまで丁寧に掃除ができるように指導する。 ・清掃場所や役割分担を明確にし、丁寧に掃除ができるように指導する。	
指標 ・校内安全週間を年1回以上実施し、児童アンケートにおいて、「安全に気をつけて、廊下や階段を歩いているか」の肯定的な回答の割合を全学年75%以上にする。 ・校内美化週間を年1回以上実施する。 ・教職員の清掃分担場所を明確にし、教職員全体で清掃の指導を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】
今後の改善点
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】

大阪市立新平野西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 施策目標を達成するための年度目標（小学校） ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることが広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。(R7 54.5%) ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72%以上にする。(R7 72%) ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 学校園の年度目標 ○ 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層を前年度よりも向上させる。 ○ 学校アンケート調査で、「規則正しい生活が大切だと思う（朝食を毎日食べること 毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きる）」の項目について、「あてはまる（だいたいあてはまる）」と回答する児童の割合を 80%以上にする。 ○ 学校アンケート調査で、「体を動かす遊びが好きですか」の項目について「あてはまる（だいたいあてはまる）」と回答する児童の割合を 85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・算数科の授業で自分の考えを数・式・図と関連して言葉で表現したり、学級の友だちと考えを交流したりすることを楽しむ子どもを育てる授業改善を行う。 指標 ・児童アンケートの「算数が好きですか」の肯定的回答を、80%以上にする。 ・学力経年調査等の結果分析を活かし、個に応じた指導を工夫する。	
取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・算数科の授業に取り組み授業改善を行い、計算タイムを活用し、計算力の向上に努める。 ・図画工作科の研究授業に取り組み授業改善を行い、仲間とともに学び高め合う子の育成に努める。 ・あらゆる教科・領域において話し合い活動を充実させる。 指標 ・火曜日は学習タイム、水曜日は計算タイム、金曜日は朝読書に毎週取り組む。	

・研究授業を年間3回以上実施する。 ・児童アンケート「友達と話し合って、意見を深め合ったりすることは好きですか」の肯定的回答を70%にする。	
取組内容③【5 健やかな体の育成】 ・跳んだり、走ったりすることを通して、子どもの運動能力や運動習慣を身に付け体力の向上を図る。 ・実技研修を実施し、教員間の情報交換を図り、指導力の向上に努める。	
指標 ・体幹を鍛える取り組みや、「かけあし月間」を実施する。 ・実技研修会を年に1回以上実施する。	
取組内容④【5 健やかな体の育成】 ・手洗い週間の実施で、手洗い・ハンカチ所持・つめを短く切るという習慣が身につくよう指導する。 ・休み時間後に手洗いの音楽を流したり、手洗い場での手洗いの仕方のポスターを掲示したりすることによって、正しい手洗いの仕方が身につくように指導する。 ・毎日の欠席調査やけがの実態調査・分析に基づく適切な指導や「保健だより」などを活用した病気やけがの防止、規則正しい生活についての啓発活動等を行い、保健指導を充実させる。	
指標 ・学期に1回の手洗い週間を実施する。 ・15分休み後、給食前、昼休み後に手洗いの音楽を流し、習慣化を図る。 ・月1回の「保健だより」や「学年だより」を基に、保健指導を充実させる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】 【取組内容④】
今後の改善点
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】 【取組内容④】

大阪市立新平野西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 施策目標を達成するための年度目標（小学校） ・校内調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を62%以上にする。 ・ゆとりの日を週1回設定し実施する。 ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を62%以上にする。（R7 61.8%） 学校園の年度目標 ・心の天気を毎日1回入力する。 ・学習で、週に3回以上学習者用端末（タブレット）を使用する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・一人1台端末を利用した個別最適な学習活用を図る。 ・児童の心の状態や日々の状態の理解を図っていく。 指標 ・学習で、週に3回以上学習者用端末（タブレット）を使用する。 ・日々の「心の天気」の登録状況を70%以上にし、子どもたちの心の揺れを共有する。	
取組内容②【7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・週1回のゆとりの日を設定し、教職員の休養を図る。 指標 ・週1回のゆとりの日を設定するとともに、持ち帰りの仕事を減らす。	
取組内容③【7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教育センターや他校の実践（総合研究発表を含む）など、外部研修に参加し、指導力・授業力の向上に取り組む。 ・校内研修・スクールアドバイザーによる研修の機会を活かして、教員の指導力・授業力を高める。 指標 ・本年度は教員の70%以上（総合研究発表会は100%）の参加を図る。 ・月に1回程度のメンター研修を実施するとともに、学校全体で内容を共有する。	

取組内容④【８ 生涯学習の支援】 ・児童が本と親しむ機会を増やす。 ・図書委員会を中心とした読書運動の取り組みを行う。 指標 ・読書タイムの設定、図書館の蔵書の充実、読書週間の読み聞かせ等の取り組みを通して、児童が本と親しむ機会を増やす。「ひらちゃん読書ノート」の低学年 100 冊、高学年 3,000 ページを達成できる児童を 50 % 以上にする。 ・図書館開放、ブックトーク、おすすめの本の掲示などの読書運動の取り組みを実施する。	
取組内容⑤【９ 家庭地域と連携協働した教育の推進】 ・地域による学校支援の取り組みを進める。 指標 ・登下校の見守りボランティアの方の紹介（年度初め）・お礼の会（年度終わり）の機会を設け、日々のあいさつができるように、つながりを深める。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】 【取組内容④】 【取組内容⑤】
今後の改善点
【取組内容①】 【取組内容②】 【取組内容③】 【取組内容④】 【取組内容⑤】